

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日
東

上場会社名 セガサミーホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 6460 URL <https://www.segasammy.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 里見 治紀
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務経理本部長 (氏名) 大脇 洋一 (TEL) 03-6864-2400
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	81,026	△22.7	△519	—	△2,124	—	△3,387	—
2025年3月期第1四半期	104,755	△3.2	19,341	△15.0	21,830	△5.5	24,525	42.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,897百万円(△92.6%) 2025年3月期第1四半期 38,995百万円(49.9%)

(参考) 調整後EBITDA 2026年3月期第1四半期 1,461百万円(△94.4%) 2025年3月期第1四半期 25,899百万円(4.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△15.89	—
2025年3月期第1四半期	113.54	113.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	636,620	366,878	57.6
2025年3月期	644,777	381,604	59.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 366,484百万円 2025年3月期 381,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	27.00	52.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	27.00	—	28.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	475,000	10.7	53,000	10.1	56,000	5.4	37,500	△16.8
								175.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 36社 (社名) Stakelogic B.V. 他11社、
GAN Limited 他23社 、除外 一社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	221,229,476株	2025年3月期	241,229,476株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	11,084,676株	2025年3月期	27,418,879株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	213,201,536株	2025年3月期1Q	216,003,561株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2025年8月8日に機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算プレゼンテーション資料については事前にTDnet及び当社ホームページに掲載するほか、決算説明会の模様及び説明内容(映像並びに音声)については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

■全体ハイライト

当第1四半期連結累計期間においては、売上高81,026百万円、営業損失519百万円、調整後EBITDA1,461百万円を計上するスタートとなりました。新作タイトルが少ない中、売上高については想定どおり、営業損失は想定よりも抑えられた結果となりました。調整後EBITDAについては営業外費用に為替差損を計上したものの想定どおりとなりました。

なお、買収を完了したStakelogic B.V. (以下、Stakelogic) 及びGAN Limited (以下、GAN) につきましては、両社とも12月決算会社であり、貸借対照表については当第1四半期連結会計期間より連結に取り込んでおり、損益計算書については第2四半期連結会計期間より取り込みを見込んでおります。通期見通しへの具体的な影響額については現在精査中であるため、精査が済み次第、公表予定です。

■事業別ハイライト

エンタテインメントコンテンツ事業

当第1四半期連結累計期間においては、概ね想定どおりの滑り出しとなりました。コンシューマ分野では、グローバル市場向けF2Pタイトルの新作『ペルソナ5：The Phantom X』が2025年6月26日に正式サービスを開始し、順調なスタートを切りました。映像分野においては、ソニック映画第1、2弾やアニメーションの海外向け配信許諾による収入を計上しました。

今後につきましては、ソニックをはじめとする多様なIPをグローバルに多面展開し、IP価値の向上と収益拡大の好循環を目指すトランスメディア戦略のもと、ゲームの販売やサービス提供、映像化、キャラクターライセンス事業等に取り組んでまいります。7月には「SEGA STORE」を、上海に続いて東京・渋谷でもオープンし、当グループの持つIPを幅広く発信していきます。

ゲームタイトルの投入は第2四半期以降本格化し、フルゲーム新作『ソニックレーシング クロスワールド』（2025年9月）、『Football Manager』次回作（2025年秋）、F2P新作の『Sonic Rumble（ソニックランブル）』、及び『プロサッカークラブをつくろう！2025』（ともに2025年）等の投入を予定しております。

映像分野においては、劇場版『名探偵コナン 隻眼の残像（フラッシュバック）』の配分収入、及びソニック映画第1、2弾や人気漫画を原作とするアニメーション作品の国内外展開による収益を見込んでおります。

※詳細ラインナップにつきましては、2026年3月期第1四半期決算プレゼンテーションをご参照ください。

<https://www.segasammy.co.jp/ja/ir/library/>

遊技機事業

当第1四半期連結累計期間においては、パチスロの販売タイトルはありませんでしたが、パチンコでは『デジハネP北斗の拳 慈母』、『Pゾンビランドサガ』等を販売し、順調な滑り出しとなりました。

今後につきましては、第2四半期よりパチスロにおいては新筐体第1弾となる『スマスロ 東京リベンジャーズ』を投入します。長期的な縮小傾向が続く遊技機市場において、新筐体の投入は業界と共存共栄していくための環境づくりに向けた施策となります。また、パチンコにおいては、ラッキートリガー3.0プラス対応機種である『e 東京リベンジャーズ』を投入します。

なお、遊技機業界全体ではパチスロの適合状況が低水準で推移をしていますが、妥協しない開発を通じて競争力のあるタイトルを供給できるよう努めてまいります。一方で、適合状況によっては販売スケジュールが影響を受けることも想定されますので、主力タイトルを優先的に申請して影響を軽減できるよう、常時検討をしております。

※詳細ラインナップにつきましては、2026年3月期第1四半期決算プレゼンテーションをご参照ください。

<https://www.segasammy.co.jp/ja/ir/library/>

ゲーミング事業

当第1四半期連結累計期間においては、ゲーミング機器販売が好調に推移しました。主に北米市場で販売拡大に取り組んでいるビデオスロットマシン筐体『Genesis Atmos®』対応の『Railroad Riches™』が引き続き高稼働を記録し、市場からの高い評価を得て売上が好調に推移しております。なお、今後市場成長が見込まれる米国iGaming市場を中心としたオンラインゲーミング市場への進出を目標に、オランダを拠点としB2B向けiGamingコンテンツサプライヤー事業を展開するStakelogic、及び米国カジノオペレーター向けにB2Bプラットフォーム事業等を展開するGANの買収を完了したことに伴い、M&A関連費用等を計上いたしました。

韓国の『パラダイスシティ』については、カジノにおいて引き続き日本人VIP客のドロップ額（チップ購入額）が高い水準を維持し、売上が好調に推移したことから持分法取込において利益貢献いたしました。

※PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd. は12月決算のため3ヶ月遅れで計上

今後につきましては、ゲーミング機器販売において、米国において『Railroad Riches™』シリーズや『Super Burst™』シリーズ等の展開を強化するほか、引き続き市場から高評価を得られるようなゲーミング機器を継続的に投入し、設置台数の増加や新規顧客の開拓、新たなライセンス取得等に取り組んでまいります。

『パラダイスシティ』については、引き続き好調な日本人VIP客及びMass客を中心としたカジノ売上が牽引することにより、持分法取込において利益貢献を見込んでおります。

【2026年3月期第1四半期】

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	104,755	81,026	△23,729	△22.7
営業利益又は営業損失(△)	19,341	△519	△19,861	—
経常利益又は経常損失(△)	21,830	△2,124	△23,954	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)	24,525	△3,387	△27,913	—
調整後EBITDA(注)	25,899	1,461	△24,438	△94.4
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	円 113.54	円 △15.89	円 △129.43	% —

(注) 調整後EBITDA：経常利益＋支払利息＋減価償却費±調整項目※

※調整項目	<ul style="list-style-type: none"> ・＋事業上の特別利益 ・△事業上の特別損失（減損損失、タイトル評価減等） ・△非支配株主に帰属する当期純利益 ・＋M&Aに伴うのれん/商標権等の償却費
-------	--

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

《エンタテインメントコンテンツ事業》

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	72,585	67,715	△4,869	△6.7
セグメント間売上高	147	154	—	—
売上高合計	72,733	67,870	△4,862	△6.7
経常利益	12,509	5,022	△7,487	△59.9
調整後EBITDA	15,702	7,983	△7,719	△49.2

《遊技機事業》

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	28,891	11,049	△17,841	△61.8
セグメント間売上高	16	27	—	—
売上高合計	28,907	11,076	△17,830	△61.7
経常利益又は経常損失(△)	10,715	△3,632	△14,347	—
調整後EBITDA	11,466	△2,884	△14,351	—

《ゲーミング事業》

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	680	1,358	678	99.7
セグメント間売上高	5	—	—	—
売上高合計	686	1,358	672	98.0
経常利益	917	180	△736	△80.3
調整後EBITDA	756	102	△653	△86.4

(2) 財政状態に関する説明

(資産及び負債)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ8,156百万円減少し、636,620百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ43,957百万円減少いたしました。これは、棚卸資産等が増加した一方で、売上債権や現金及び預金が減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ35,800百万円増加いたしました。これは、Stakelogic及びGANを連結の範囲に含めたことにより、のれんが増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ6,569百万円増加し、269,742百万円となりました。これは、賞与引当金や未払法人税等が減少した一方で、仕入債務が増加したほか、Stakelogic及びGANの負債を取り込んだこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて14,725百万円減少し、366,878百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したほか、配当金の支払いや自己株式の取得により株主資本が減少したこと等によるものであります。なお、自己株式の消却により、資本剰余金と自己株式がそれぞれ39,738百万円減少いたしました。

(財務比率)

当第1四半期連結会計期間末における流動比率は、前連結会計年度末に比べ59.1ポイント低下し、353.7%となりました。また、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.5ポイント低下し、57.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期連結業績予想については2025年5月12日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	200,360	148,386
受取手形、売掛金及び契約資産	52,653	44,247
有価証券	—	242
商品及び製品	10,958	16,369
仕掛品	59,565	65,482
原材料及び貯蔵品	23,155	25,892
その他	42,353	44,494
貸倒引当金	△303	△328
流動資産合計	388,744	344,786
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,691	13,700
その他（純額）	35,240	37,619
有形固定資産合計	48,931	51,320
無形固定資産		
のれん	30,119	67,475
商標権	44,871	46,811
その他	16,251	20,185
無形固定資産合計	91,241	134,471
投資その他の資産		
投資有価証券	51,185	53,081
その他	64,776	53,062
貸倒引当金	△102	△102
投資その他の資産合計	115,859	106,041
固定資産合計	256,033	291,834
資産合計	644,777	636,620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,560	26,623
短期借入金	7,500	11,392
未払法人税等	3,822	263
引当金	13,135	4,948
その他	46,161	54,249
流動負債合計	94,179	97,478
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	132,000	132,000
引当金	2,149	2,935
退職給付に係る負債	4,616	4,940
資産除去債務	2,329	2,517
その他	17,897	19,870
固定負債合計	168,993	172,264
負債合計	263,173	269,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	69,740	29,931
利益剰余金	314,947	305,706
自己株式	△54,866	△26,783
株主資本合計	359,774	338,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,441	4,690
繰延ヘッジ損益	641	542
土地再評価差額金	△1,109	△1,109
為替換算調整勘定	16,868	22,056
退職給付に係る調整累計額	1,548	1,495
その他の包括利益累計額合計	21,391	27,676
新株予約権	414	368
非支配株主持分	24	24
純資産合計	381,604	366,878
負債純資産合計	644,777	636,620

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	104,755	81,026
売上原価	54,454	46,868
売上総利益	50,301	34,158
販売費及び一般管理費	30,960	34,677
営業利益又は営業損失(△)	19,341	△519
営業外収益		
受取利息	686	666
受取配当金	81	88
持分法による投資利益	990	1,193
投資事業組合運用益	251	38
為替差益	750	—
その他	434	371
営業外収益合計	3,194	2,358
営業外費用		
支払利息	417	563
投資事業組合運用損	154	365
為替差損	—	2,912
その他	134	121
営業外費用合計	705	3,962
経常利益又は経常損失(△)	21,830	△2,124
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	39	18
関係会社株式売却益	8,488	—
その他	357	0
特別利益合計	8,886	19
特別損失		
固定資産売却損	0	0
減損損失	204	294
投資有価証券評価損	—	179
関係会社株式評価損	78	—
特別損失合計	283	474
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	30,433	△2,579
法人税、住民税及び事業税	5,242	161
法人税等調整額	662	646
法人税等合計	5,905	808
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,527	△3,387
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	24,525	△3,387
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	0

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	330	1,249
繰延ヘッジ損益	323	△98
為替換算調整勘定	13,206	5,450
退職給付に係る調整額	△192	△54
持分法適用会社に対する持分相当額	799	△261
その他の包括利益合計	14,467	6,285
四半期包括利益	38,995	2,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,992	2,897
非支配株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月12日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を決議し、2025年5月23日付で自己株式20,000,000株を消却いたしました。これにより、当第1四半期連結会計期間において、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ39,738百万円減少しております。

さらに、同日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式の取得を決議し、これに基づき、東京証券取引所における市場買付により、当第1四半期連結会計期間において、普通株式3,818,600株を11,999百万円で取得いたしました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	エンタテインメント コンテンツ事業	遊技機事業	ゲーミング事業			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	72,585	28,891	680	102,157	2,598	104,755
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	147	16	5	169	△169	—
計	72,733	28,907	686	102,326	2,429	104,755
セグメント利益又は損失 (△)	12,509	10,715	917	24,142	△2,312	21,830

- (注) 1 外部顧客に対する売上高の調整額2,598百万円は、事業セグメントに帰属しない売上高であります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△2,312百万円には、事業セグメントに帰属しない損失△197百万円、セグメント間取引消去0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,115百万円が含まれております。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	エンタテインメント コンテンツ事業	遊技機事業	ゲーミング事業			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	67,715	11,049	1,358	80,123	902	81,026
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	27	—	181	△181	—
計	67,870	11,076	1,358	80,305	720	81,026
セグメント利益又は損失 (△)	5,022	△3,632	180	1,571	△3,695	△2,124

- (注) 1 外部顧客に対する売上高の調整額902百万円は、事業セグメントに帰属しない売上高であります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△3,695百万円には、事業セグメントに帰属しない損失△119百万円、セグメント間取引消去72百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,648百万円が含まれております。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ゲーミング事業セグメントにおいて、Stakelogic B.V.の株式取得に伴い、当第1四半期連結会計期間より、同社及びその子会社11社を連結の範囲に含めております。

この結果、ゲーミング事業セグメントにおいて、のれんが18,639百万円発生しております。なお、取得原価の配分が完了していないため、当第1四半期連結会計期間末において入手可能な合理的な情報に基づき、暫定的な会計処理を行っております。

ゲーミング事業セグメントにおいて、GAN Limitedの株式取得に伴い、当第1四半期連結会計期間より、同社及びその子会社23社を連結の範囲に含めております。

この結果、ゲーミング事業セグメントにおいて、のれんが17,353百万円発生しております。なお、取得原価の配分が完了していないため、当第1四半期連結会計期間末において入手可能な合理的な情報に基づき、暫定的な会計処理を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	3,441百万円	3,249百万円
のれんの償却額	672	770